



へ～
ふむふむ

- 特集：図書館員も興味津々！レファレンス事例紹介
- イベント報告 読書バリアフリー講座
- ブックレビュー
- 利用者アンケート結果

図書館員も興味津々！レファレンス事例紹介

図書館には、たくさんのレファレンス（調査・相談）が寄せられます。中には、専門書やインターネットで調べても納得のいく情報になかなかとり着けないものもあります。今回は、県立西部図書館に寄せられた“図書館員も興味津々のレファレンス”を、レファレンス協同データベース*より抜粋して紹介します。

*＜レファレンス協同データベースとは＞

全国の図書館等で作成したレファレンスや情報の調べ方が登録され、インターネット上で公開されているデータベースです。質問者個人を特定できないようにし、表現に留意してまとめ直した上で公開しています。国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築しています。

レファレンス協同データベース (<https://crd.ndl.go.jp/reference/>) にアクセスし、詳細検索の検索条件に各レファレンスの管理番号を入力すると、該当のレファレンスのページで詳細な情報をご確認いただけます。



歴史に関すること

吉田松陰の脱藩の道筋が知りたい。松戸（千葉県）にも立ち寄ったらしい。

吉田松陰が歩いた道筋が、以下の資料に紹介されています。

『江戸の旅人吉田松陰 遊歴の道を辿る』（海原徹著 ミネルヴァ書房 2003）

脱藩行は「第三章 東北へ旅立つ」にあり、「表4 東北遊歴 嘉永4（1851）年12月14日～5年4月5日」の12月14日「江戸発」の次に、同日千葉県松戸市上本郷の「本福寺に泊まる」と記載があります（p115）。※その他資料あり

＜レファレンス協同データベース＞管理番号：千県西-2015-10



食べ物に関すること

にぎり寿司にワサビがつくようになったのはいつ頃か。

江戸後期の文化年間（1804～1818年）から文政年間（1818～1830年）頃と考えられます。

『日本料理由来事典（中）』（川上行蔵監修 同朋舎出版 1990）

p548-549「江戸後期の一八二〇年ごろにはサバの生臭みを消すためにワサビを用い、おろしワサビをはさんだ握り鮓が考えだされた。」※その他資料あり

＜レファレンス協同データベース＞管理番号：千県西-2015-22



千支に関すること



WHY?

十二支のはじまりがなぜ「子」なのか知りたい。

十二支の順序については諸説あるようです。

『十二支物語』（諸橋徹次著 大修館書店 1988）より、

「『史記』の「律書」、『漢書』の「律歴書」、『白虎通』や『釈名』などに、若干の説明が出ています。（中略）子は滋であり、この時節には万物の滋る芽ばえのあること（中略）要するに十二支は、すべて季節に従って万物が春から冬に至るまで変化する状態を基としたものだと説明しているのです。（p18-19「十干と十二支」）」と記載があります。

※その他資料あり

<レファレンス協同データベース>管理番号：千県西-2019-0018

動物の習性に関すること

鳩を見ているとよく地面をついばんでいるように見えるが、何をしているのか。（土を食べているのか？ カルシウムの補給か？ 胃の働きを助けるのか？）

このことについて書いてある文献が見たい。

「鳩が地面をついばんでいる理由」として明記している資料は見当たりませんでしたが、鳥類の消化の仕組みについての資料（※）によると、鳩に限らず、鳥類には口に歯がなく、飲み込んだ食べ物を胃の中の砂嚢（さのう）あるいは筋胃（きんい）ですりつぶす、砂嚢の中で砂と一緒に強力な筋肉でこすりあわせて食物を砕く、ということがわかります。このために予め砂を飲み込んでおくのだと考えられます。※資料はWEBページでご確認ください

<レファレンス協同データベース>管理番号：千県西-2015-8



昔話に関すること

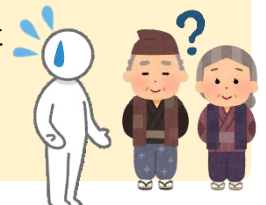
子ども向けの昔話で「鬼のつば」という話がある。鬼のつばをつけられた男が、透明人間になってしまい、家族からも見えなくなってしまうという内容だったが、この話は今昔物語集に収録された話を基に作られたらしい。

今昔物語集で該当の部分を読みたい。現代語訳が付いているものが良い。

質問にあった話は、今昔物語集の巻第十六の「隠形男依六角堂観音助顕身語 第三十二」と思われます。

『新編日本古典文学全集 36 今昔物語集』（小学館 2000）のp271に現代語訳付きのものが掲載されています。

<レファレンス協同データベース>管理番号：千県西-2022-0014



レファレンス協同データベースには、なんと165,274件（令和7年1月19日現在）のレファレンス事例が一般公開されています。その中で、当館が登録した事例（229件）のうち、5件を紹介しました。ご自分で調べものをする時に、レファレンス協同データベースで検索をすると、参考になる情報が見つかるかも知れません。なお、千葉県立図書館のホームページにも、レファレンス事例集としていくつか掲載していますので、そちらもぜひご覧ください。

千葉県立図書館HP<レファレンス事例集>

https://www.library.pref.chiba.lg.jp/reference/reference_list/index.html



12月13日（金）に、南流山地域図書館にて、県民向け講座を出前開催しました。第1部では株式会社ラビット代表取締役の荒川明宏氏にご講演いただき、第2部では体験会「スマートフォン・タブレット・パソコンによるサピエ図書館を活用した読書」を行いました。

参加者からは「視覚障害者当事者の方から読書方法や読書支援機器の紹介をしてもらい、大変参考になった」と感想をいただきました。



※全国視覚障害者情報提供施設協会が運営する、視覚障害のある人や活字による読書が困難な人に点字図書や録音図書のデータを提供するネットワークシステム。

館内展示のご案内

テーマ 葛飾北斎（期間：令和6年12月1日（日）～令和7年3月28日（金））

葛飾北斎は、1760年（宝暦10年）に江戸の本所割下水に生まれ、1849年（嘉永2年）にこの世を去るまでに、数多くの作品を残し、今も世界中の人々を魅了しています。

また、「千絵の海」、「北斎漫画」などに、房総や銚子の景色が描かれていることから、千葉にも訪れていたことがうかがえます。

作品が世界で評価され、新千円札の図案にも採用された葛飾北斎について、紹介しています。



BOOK REVIEW ちょっと気になる新着図書

『野菜の花写真館』【資料番号：1102615583／請求記号：626/6】

著者：植松 國雄 / 出版：敬文舎 / 出版年：2021年5月



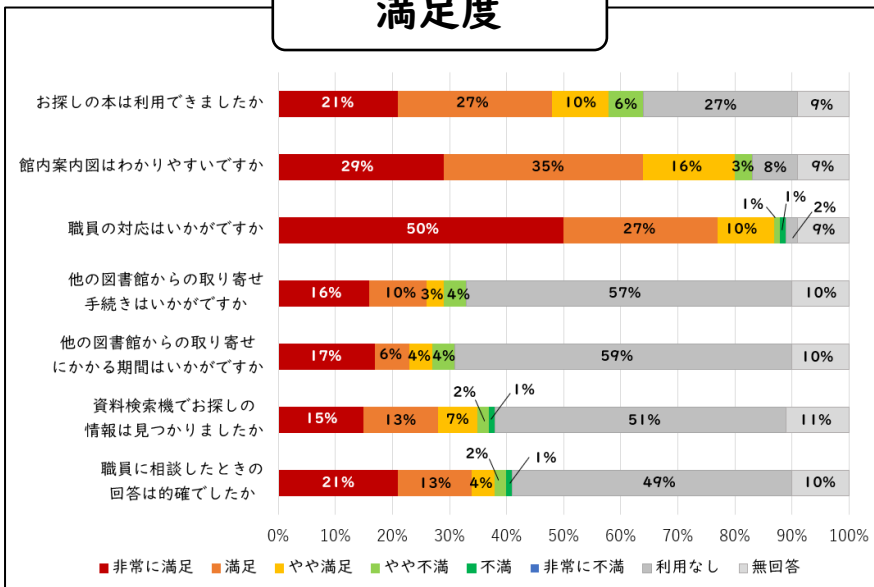
今回紹介するのは野菜の花の写真集です。スーパーなどでよく見かける野菜でも、その花は知らないことが多いかもしれません。

家庭菜園などで栽培される野菜の花から、^{ちんげんさい}青梗菜や^{ごぼう}牛蒡、サフランなど、スーパーや青果店以外ではなかなか目にする機会が少ないものまで、多様な178種の野菜の花と、その花に訪れた生き物を写真に収めています。各野菜に関する料理や歴史、名前の由来などの解説も掲載しています。

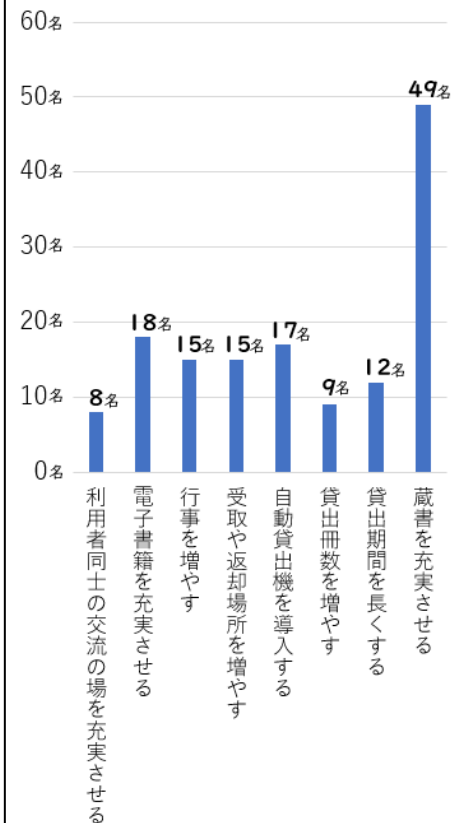
利用者アンケート結果

10月27日(日)～11月9日(土)の期間中、来館された方とインターネット上でアンケートのご協力をお願いし、104件の回答をいただきました。ありがとうございました。ここでは回答の一部を紹介します。

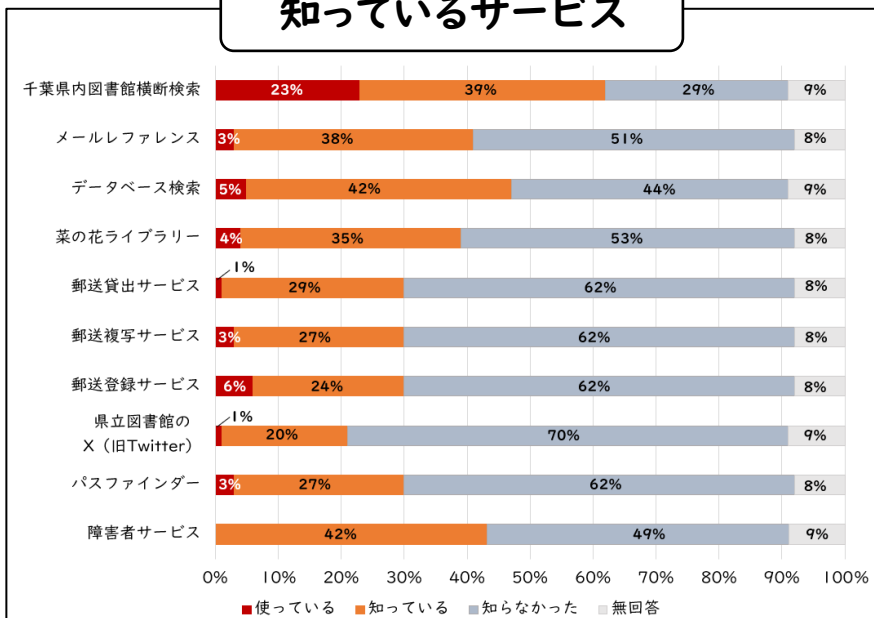
満足度



力を入れてほしい取り組み



知っているサービス



その他の結果については、近日中に県立図書館ホームページで公開する予定です。
また、当館内にも掲示しますのでご来館の際はご覧ください。

編集後記

今回は西部図書館で対応したレファレンスを紹介しました。レファレンスは県立図書館の最も重要なサービスのひとつであり、県民の皆様の課題をできるだけ多く解決したいと図書館の職員は日々、多数のレファレンスに取り組んでいます。ホームページではメールレファレンスも受付けています。ぜひご利用ください。

【レファレンスご案内のページ→】



West Library 千葉県立西部図書館だより 87号

発行日：令和7年2月28日

編集：千葉県立西部図書館

〒270-2252

千葉県松戸市千駄堀 657-7

TEL047-385-4133

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

ISSN：0918-7383